

令和4年度

教職課程

自己点検評価報告書

甲南女子大学

令和5年3月

目次

- I 教職課程の現況及び特色
- II 基準領域ごとの教職課程の自己点検評価
 - 基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み
 - 基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援
 - 基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム
- III 総合評価
- IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス
- V 現況基礎データ一覧

I 教職課程の現況及び特色

1 現況

- (1) 大学名： 甲南女子大学
- (2) 所在地： 兵庫県神戸市東灘区森北町6丁目2番23号
- (3) 学生数及び教員数（令和4年5月1日現在）
 - 学生数： 教職課程履修 856 名／大学全体 4220 名
 - 教員数： 教職課程科目担当（教職・教科とも）80 名／大学全体 232 名

2 特色

甲南女子大学は、神戸市東灘区に位置する大学全体 4220 名（学部学生数 4178 名、大学院学生数 42 名）、教員数 232 名、5 学部 11 学科、大学院 2 専攻を設置する中規模の女子大学である。下表に教職課程を設置している学科、取得予定免許、履修人数等を示す。【資料 I-1-2-1】

令和4年10月1日現在

学部	専攻・学科	取得予定免許	履修	在籍
文学部	日本語日本文化学科	中学校教諭一種（国語）	64名	357名
		高等学校教諭一種（国語）	64名	
	英語文化学科	中学校教諭一種（英語）	3名	155名
		高等学校教諭一種（英語）	3名	
国際学部	国際英語学科	中学校教諭一種（英語）	25名	299名
		高等学校教諭一種（英語）	25名	
人間科学部	総合子ども学科	幼稚園教諭一種	553名	620名
		小学校教諭一種	160名	
看護リハビリテーション学部	看護学科	養護教諭一種	78名	428名
医療栄養学部	医療栄養学科	栄養教諭一種	69名	303名
大学院	言語・文学専攻 日本語日本文学コース	中学校教諭（専修）	1名	2名
		高等学校教諭（専修）	1名	
	英語英米文学コース	中学校教諭（専修）	0名	0名
		高等学校教諭（専修）	0名	
	心理・教育学専攻 人間教育学コース	幼稚園教諭専修	0名	16名
		小学校教諭専修	0名	

甲南女子大学の歴史は、大正9年（1920年）甲南高等女学校創立に始まる。建学の精神（まことの人間をつくる）、校訓（清く 正しく 優しく 強く）、教育方針（全人教育 個性尊重 自学創造）を掲げ、これらを基盤に、品格と国際性を備え、社会に貢献する高い志を持つ女性の育成を大学の使命としている。【資料I-1-2-1】これらに基づき、教職課程では、幅広い視野と教養を身につけ、高度な専門性および教職への強い使命感を有する教員の養成を目的としている。この目的実現するために、本学では少人数教育および個々の学生に応じた教職支援を、教職課程委員会、教職支援課、各教員が、組織的一体的に行っている。【資料I-1-2-2】

文学部日本語日本文化学科の教職課程では、日本語、日本文学、日本文化について幅広い知識と深い教養を備えた国語科教員を養成することを目的としている。この教職課程を履修することにより中学校教諭一種免許（国語）、高等学校教諭一種免許（国語）を取得することができる。さらにこの学科には神戸親和女子大学通信教育部との協定による小学校免許取得プログラムが用意されており、希望者は当該通信教育により小学校教諭一種免許も取得することができる。【資料I-1-2-3】【資料I-1-2-4】

国際学部国際英語学科では、日常の英語運用能力、言語や文化の理解、グローバルビジネスな

どの専門知識を身につけた英語教員を養成することを目的としている。この教職課程を履修することにより中学校教諭一種免許（英語）、高等学校教諭一種免許（英語）を取得することができる。さらに小学校の英語導入に対応し、この学科にも神戸親和女子大学通信教育部との協定による小学校免許取得プログラムが用意されており、希望者は当該通信教育により小学校教諭一種免許も取得することができる。【資料 I-1-2-3】【資料 I-1-2-5】

人間科学部総合子ども学科は、教員養成を主たる目的とする学科である。子どもの発達を総合的に捉える「子ども学」を中心に、教育現場で活躍できる高度な専門性を備えた教員を養成する。この学科では幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許を取得することができる。【資料 I-1-2-3】【資料 I-1-2-6】

看護リハビリテーション学部看護学科では、看護学の専門性にのっとり、学校教育における幼児・児童・生徒および教職員を対象とした学校保健活動と養護実践の基盤を培い、生涯にわたって「学び続ける養護教諭」を養成することを目的としている。この教職課程を履修することにより養護教諭一種免許を取得することができる。【資料 I-1-2-3】【資料 I-1-2-7】

医療栄養学部医療栄養学科では、栄養教育に関する高度な専門知識ならびに技術を習得した管理栄養士が、国民の生涯にわたる食育推進に寄与することを理念とし、学校における個々の児童生徒の健康状況に見合った栄養教育を担う栄養教諭の養成を目的としている。この教職課程を履修することにより、栄養教諭一種免許を取得することができる。【資料 I-1-2-3】【資料 I-1-2-8】

<根拠となる資料・データ等>

【資料 I-1-2-1】甲南女子大学学則

【資料 I-1-2-2】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「全学」（令和4年7月23日閲覧）

【資料 I-1-2-3】教職課程ガイドブック 2022年度 甲南女子大学

【資料 I-1-2-4】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「文学部日本語日本文化学科」（令和4年7月23日閲覧）

【資料 I-1-2-5】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「国際学部国際英語学科」（令和4年7月23日閲覧）

【資料 I-1-2-6】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「人間科学部総合子ども学科」（令和4年7月23日閲覧）

【資料 I-1-2-7】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「看護リハビリテーション学部看護学科」（令和4年7月23日閲覧）

【資料 I-1-2-8】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「医療栄養学部医療栄養学科」（令和4年7月23日閲覧）

II 基準領域ごとの教職課程の自己点検評価

基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

基準項目 1-1 教職課程教育の目的・目標の共有

〔現状説明〕

教職課程教育は、本学の「建学の精神」「校訓」「教育方針」に基づき教職課程委員会（文部科学省に届けている教職専任教員 2 名、教職課程を設置する学科から選出された教員各 1 名、指定保育士養成施設として指定されている学科から選出された教員 1 名、教務部長及び教職支援課長で構成）、教職支援課（教員 5 名、職員 5 名で構成）各教員が組織的に行っている。その目的は、「学生が自ら課題を見出し、明確な目的意識の下で専門性の向上に主体的に取り組み、生涯にわたって学び続ける教員の育成」である。この目的は、毎年の教職課程委員会で共有され、それぞれが属する学科会議を通じて周知されている。【資料Ⅱ-1-1-1】【資料Ⅱ-1-1-2】

〔長所・特色〕

教職課程を履修する学生には、冊子「教職課程ガイドブック」が配布される。この冊子は、教職課程教育の目的に沿い、学生が学び続けられるよう編集され、教職課程とは何か、教職課程の履修、教育実習、教職支援課のサポート体制、介護等体験、教員免許状の交付申請手続きなどが詳述されている。【資料Ⅱ-1-1-3】

〔取り組み上の課題〕

現状説明に示す目的は、設定されてからかなりの期間が経過している。目的には不易な部分はあるが、近年の社会の動き（Society5.0 や SDGs の認識）や教育課題（不登校、いじめ、児童虐待、発達障害がある児童生徒の顕在化）などを包含する目的に修正する時期に来ている。

目的の共有について、学科会議に出席しない教員（非常勤講師など）が外れている可能性がある。教職課程の授業を担当する全教員への周知方法を考えなければならない。

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅱ-1-1-1】甲南女子大学教職課程委員会規程

【資料Ⅱ-1-1-2】甲南女子大学 HP 教員の養成の状況についての情報「全学」（令和 4 年 7 月 23 日閲覧）

【資料Ⅱ-1-1-3】教職課程ガイドブック 2022 年度 甲南女子大学

基準項目 1-2 教職課程に関する組織的工夫

〔現状説明〕

本学の教職課程は、教職課程委員会が中心となり運営する。当該委員会の構成員には教務部長と教職課程設置学科教員が含まれており、その審議事項は各学科を横断し一貫したものとなる。

教職課程委員会の業務を支える大学組織として、教職支援課がある。教職支援課では、学生の教職課程履修が円滑に進行するよう個別の学生に対するさまざまな支援を行っている。教職課程委員会に所属する専任教員 2 名は、日常的に教職支援課と連携し、学生が抱える課題の早期発見と早期解決、不測の事態への対応を行っている。

〔長所・特色〕

教職支援課では、教員免許状取得を目指す学生を個々に把握し、履修相談、教育実習や介護等体験の指導、教員採用試験のサポート、スクールサポーターの紹介を行っている。同課には、業務スペースのほか、相談カウンター、懇談スペース、教職関係図書の書架がある。授業期間の開室時間は9:00～18:00であり、相談等に訪れる学生は多い。【資料Ⅱ-1-2-1】

教職支援課が毎年ホームページに公開する「教職課程年報」には、教育実習を終えた学生の振り返り、教員採用試験合格体験記、教職支援課の業務の総括、教職課程を履修する学生の各種データが掲載されている。これは、Teacher's Café（教員採用試験勉強会）でも利用されている。

【資料Ⅱ-1-2-2】【資料Ⅱ-1-2-3】

〔取り組み上の課題〕

教職課程上の課題については、その都度教職課程委員会で審議されているが、教職課程科目の改編や履修年の調整が今後必要になる。また教職課程の質については授業担当教員に任されているのが実情であるが、授業担当者への学生情報の提供や授業担当者を対象とした研修会の実施が今後の検討課題となる。

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅱ-1-2-1】教職課程ガイドブック 2022年度 甲南女子大学

【資料Ⅱ-1-2-2】2020（令和2）年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

【資料Ⅱ-1-2-3】2021（令和3）年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

基準領域2 学生の確保・育成・キャリアの支援

基準項目2-1 教職を担うべき適切な学生の確保・育成

〔現状説明〕

教職課程の設置、教員養成の特色についての学外への発信は、キャンパスガイド（大学案内）、大学ホームページ、オープンキャンパス時に配布するキャンパスプログラムなどで行っている。

【資料Ⅱ-2-1-1】【資料Ⅱ-2-1-2】【資料Ⅱ-2-1-3】また、受験生向けの進学説明会、高校訪問、大学進学合同説明会においても、教職課程についての積極的な広報活動を行い、希望者には資料を送付している。さらに、総合子ども学科では、学科インスタグラムで、教職課程の授業のようす、卒業生を招聘した演習のようすなどを発信している。

全学の各学年で行われる教職説明会（2、3、4年生は進級前の3月、1年生7月に実施）においては、教職課程ガイドブックや保育実習幼稚園実習ハンドブックを参照しながら、教職課程関係のスケジュールと履修のポイント、履修方法、教育実習・養護実習・学校栄養教育実習、教員採用試験対策、教職支援課のサポート体制等を説明し、学生が目的意識と展望を持って教職課程を履修するよう指導している。【資料Ⅱ-2-1-4】【資料Ⅱ-2-1-5】看護学科では、各学年の年度末に担当教員が面談を行い、専門である看護学との両立の可否や履修要件の到達度を確認している。

教育実習の履修は、各学科、各学年で条件を設定している。この条件が達成できるよう教職支援課の教員と職員、学科教員は、各学生の履修状況を把握している。総合子ども学科では「教育実習を伝える会」を開催し、教育実習の準備や心構えを指導している。看護学科では個別面談を実施し、学科の専門性修得と教職の履修の両立が継続するよう指導を行なっている。教育実習期間中、学科教員は実習中の全学生に対して訪問指導を行い、教職支援課ではメール等で常本人と連絡が取れるようにし、学生の相談や不測の事態に備えている。【資料Ⅱ-2-1-4】【資料Ⅱ-2-1-6】

教職課程の時間割編成にあたっては、教職科目と各学科の専門科目の重複が生じないよう配慮がなされている。これにより、時間割重複が原因の教職課程履修断念は避けられている。

〔長所・特色〕

年に8回行われる高校生向けのオープンキャンパスにおいては、各学科のブースとは別に「甲南女子大学の教員養成」と称するブースを設置し、教職専任教員が、教職課程の授業の一部を実演し、教職課程とは何か、教職課程履修の実際、教員採用試験対策などについて説明している。

【資料Ⅱ-2-1-3】

〔取り組み上の課題〕

本学には、明るくコミュニケーション能力に長けた学生、中学校高等学校時代の部活動でさまざまな経験を積んだ学生がいる。このような学生が教職課程を履修することが多いが、教職に適性があるにもかかわらず学科の専門との両立が難しく、教職課程履修を断念する学生もいる。また、教職課程を履修するが、その意思が揺らいだり（日本語日文化学科、国際英語学科）、意思決定が遅れる（総合子ども学科）学生もいる。専門科目の時間割との関係（看護学科、医療栄養学科）では、スクールサポートなどの学校ボランティア活動が物理的に制限されることもある。時間割調整とともに早い時期から教職の魅力発信や児童生徒との交流を計画し、学生がさらに教

職への展望がもてるよう環境を整える必要がある。

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅱ-2-1-1】22 Campus Guide (大学案内)

【資料Ⅱ-2-1-2】甲南女子大学 WP 教員の養成の状況についての情報 (令和4年7月23日閲覧)

【資料Ⅱ-2-1-3】OPEN CAMPUS 2022 甲南女子大学

【資料Ⅱ-2-1-4】教職課程ガイドブック 2022年度 甲南女子大学

【資料Ⅱ-2-1-5】保育実習幼稚園実習ハンドブック 2022 甲南女子大学

【資料Ⅱ-2-1-6】2020 (令和2) 年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

【資料Ⅱ-2-1-7】2021 (令和3) 年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

〔現状説明〕

全学の各学年で行われる教職説明会において、各学科各学年別に教職課程関係スケジュールを示し、当該学年の科目の履修、介護体験や教育実習への申し込み、教員採用試験の出願などに遺漏がないよう指導している。【資料Ⅱ-2-2-1】【資料Ⅱ-2-2-2】

看護学科においては、医療機関で看護師としてのキャリアを積み上げた後、養護教諭採用試験を受験する学生が多い。これを受け、毎年「看護学科養護教諭一種免許卒業生および在校生交流会」の実施、卒業生とのネットワークの構築などを行い、卒業後養護教諭をめざす学生への採用試験対策及びリカレント教育を実施している。【資料Ⅱ-2-2-3】【資料Ⅱ-2-1-4】

教職支援課では、教育関係の書籍や雑誌、各都道府県の採用情報を配架し、学生が教員採用についての情報を入手できるよう工夫している。各学科では、優れた現職教員や卒業生教員を講師に招聘し、教職の魅力や学校の舞台裏を学生に伝え、教員採用試験に迷いなく挑戦できるよう環境を整えている。

〔長所・特色〕

主に中高教諭、養護教諭、栄養教諭志望の学生に対しては、教職課程専任教員2名が Teacher's Café と称する教員採用試験勉強会 (週2回の昼休み1回30分で実施、採用試験前には個別に時間を設定して実施) を年間60回以上行っている。ここでは、教育改革の方向や教育課題などの教職教養の講義、面接や集団討議、模擬授業の指導を、行なっている。教員採用試験に合格した学生はその体験記の中で、「2年生から3年生の終わりごろまでは継続して、教職支援課が主催する Teacher's Café に参加していました。(中略) 同期の人数は少なかったのですが、先輩と交ざって意見交換することができたため、とても刺激になりました。」と述べている。【資料Ⅱ-2-2-5】また、総合子ども学科には教員のワーキンググループがあり、教員採用試験に向けた「教職合宿」を実施している。同時に学生は自主勉強会を企画し、令和3年度には7名の教員から103回の指導を受けた。【資料Ⅱ-2-2-1】また同科では卒業生、在学生、教員が集う「小学校学習指導研究会」を組織して年4回の研究会を開催している。参加者は卒業生の小学校教員数名、在学生20名から30名、大学教員数名で、養成と研修を一体化した教員養成を行っている。【資料Ⅱ-2-2-6】

さらに教職支援課と総合子ども学科では、教員採用試験に向けて自主的継続的に学習したい学

生のために、ほとんど全日全時間利用できる自習室（10名程度の定員）を2室用意している。

〔取り組み上の課題〕

日本語日本文化学科、国際英語学科、看護学科、医療栄養学科での中高教諭養成、養護教諭養成、栄養教諭養成では、希望する学生のみが教職課程を履修する。総合子ども学科は教員養成学科であり、全学生が幼小教諭養成の教職課程を履修する。それぞれの学科設立の経緯が異なることや、学科独自の専門性重視があることから、教員採用試験対策の指導が複数系列に分かれている。しかしながらこれらの指導には共通な事項も多々あり、本学教職員のマンパワーを最大限生かすためにも整理及び部分的な統合が必要である。

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅱ-2-2-1】教職課程ガイドブック 2022年度 甲南女子大学

【資料Ⅱ-2-2-2】保育実習幼稚園実習ハンドブック 2022 甲南女子大学

【資料Ⅱ-2-1-3】22 Campus Guide（大学案内）

【資料Ⅱ-2-2-4】2019（令和元）年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

【資料Ⅱ-2-2-5】2020（令和2）年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

【資料Ⅱ-2-2-6】甲南女子大学小学校学習指導研究会会報 南女 TIPS 第13号

基準領域3 適切な教職課程カリキュラム

基準項目3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

〔現状説明〕

平成30年の教職課程再課程認定に際して、各学科の教職課程の位置づけを見直し、学校教育法施行規則上の最低取得単位（以下、法定単位という）を上回るよう大きく改編した。

日本語日本文化学科、国際英語学科（中高教諭免許）では、それぞれの学科の専門科目の中から教職に必要とされる科目を設定している。そのため「教科及び教科の指導法に関する科目」で法定単位を上回る履修を義務付けている。さらにこの2学科の学生には、神戸親和女子大学通信教育部との協定により小学校教諭一種免許を取得する道も拓かれている。

総合子ども学科（幼小教諭免許）では、「教育の基礎理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」で法定単位を上回る履修を義務付けている。また「大学が独自に設定する科目」には、幼稚園や小学校教員には特に重要であるとの判断から独自の科目（子ども学、人間発達論など）を開設し履修を義務付けている。【資料Ⅱ-3-1-1】【資料Ⅱ-3-1-3】

看護学科（養護教諭免許）は、当該学科が看護学の習得に最も重点を置いていることから「看護学（臨床実習及び救急処置を含む）」で法定単位を大きく上回る履修を義務付けている。

医療栄養学科（栄養教諭免許）は、栄養教諭免許申請の条件として管理栄養士免許取得があり、その面においても多くの単位の履修義務があるが、児童生徒の栄養指導に必要であることから「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」で法定単位を上回る履修を義務付けている。【資料Ⅱ-3-1-2】【資料Ⅱ-3-1-3】

各学科の「教科及び教職に関する科目」「大学が独自に設定する科目」「第66条の6に定める科目」等課程認定科目の改廃は、教職課程委員会に諮られるため、これらの系統性については、全学的な共通理解が図られている。

〔長所・特色〕

「大学が独自に設定する科目」として、日本語日本文化学科、国際英語学科（中高教諭免許）では「人権教育」「介護等体験」、総合子ども学科（幼小教諭免許）では「子ども学」「人間発達論」「人権教育」「介護等体験」など【資料Ⅱ-3-1-1】【資料Ⅱ-3-1-2】、総合的な人間力を有する教員に資する教科を配置している。

〔取り組み上の課題〕

日本語日本文化学科と国際英語学科（中高教諭免許）、看護学科（養護教諭免許）、医療栄養学科（栄養教諭免許）には、それぞれの学科の多くの専門科目があり、教職課程ではさらに「教育の基礎的理解に関する科目」や「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」などの履修が必要になる。そのため学生の時間割が密になり、Teacher's Café（教員採用試験勉強会）のような4学科に横断する指導時間が日常の時間割中に確保できない。現状ではTeacher's Caféは昼休みに30分間実施しているが、将来的には授業時間内に設定したい。【資料Ⅱ-3-1-1】【資料Ⅱ-3-1-2】

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅱ-3-1-1】学生要覧 2022（令和4）年度 文学部・国際学部・人間科学部 甲南女子大学

【資料Ⅱ-3-1-2】学生要覧 2022（令和4）年度 看護リハビリテーション学部・医療栄養学部 甲南女子大学

【資料Ⅱ-3-1-3】教職課程ガイドブック 2022年度 甲南女子大学

基準項目3-2 実践的指導力育成と地域との連携

〔現状説明〕

教師力を支える実践知は、講義や書籍から得られる形式知と学校での経験から得られる暗黙知から構成されている。しかし、学生時代の暗黙知獲得の機会は限られたものであり、本学としては意図的にこの機会を重視している。

教職課程を履修する多くの学生には、神戸市教育委員会との協定によるスクールサポーター制度や近隣都道府県や市町村の学校ボランティア、学校インターンシップ制度の活用を強く勧めている。【資料Ⅱ-3-2-1】学校の教員を模擬的に体験することで、自分の教員としての適性を再発見する学生もおり、実践的指導力育成に留まらず教職をめざす強い動機づけとなっている。

〔長所・特色〕

学生は、ボランティア先の学校で教職課程の授業と学校の現実の乖離を経験するが、この点に関しては、教職支援課の教員からその背景や個別事情について丁寧な説明を行っている。また、教職課程ではケースメソッドを教材として使用している授業がある。教職実践演習では、長年の教職経験がある教員が授業を行ったり、ゲストティーチャーとして現職教員を招聘したりするなど、教員としての勤務に直結する知識やスキルの習得をめざしている。

〔取り組み上の課題〕

教員の職務の中でも、教諭の年間の学級経営、栄養教諭の給食管理、全教諭が行う保護者との対応、児童生徒の問題行動の指導については、教職課程の授業や教育実習においてもほとんど学ぶ機会はない。しかし、教員となればその日から必要となる実践知であり、これらに特化した授業の創設が必要である。

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅱ-3-2-1】教職課程ガイドブック 2022年度 甲南女子大学

Ⅲ 総合評価

本学では、教員養成を大学の重要な使命として位置づけ、教職課程を運営している。その要として設置されている教職課程委員会の業務は、「甲南女子大学教職課程委員会規程」に定められており、教職支援課の教員、職員、各学科から選出された委員が連携して教職課程を運営している。

【資料Ⅲ-1】

教職課程委員会、教職支援課は、教員養成を主たる目的とする学科（総合子ども学科）、中高教員免許取得の教職課程をもつ学科（日本語日本文化学科、国際英語学科）、養護教諭免許取得の教職課程をもつ学科（看護学科）、栄養教諭免許取得の教職課程をもつ学科（医療栄養学科）を束ねている。教職支援課は、教職課程のカリキュラム編成、学生の進路支援、教育実習や学校インターンシップの支援、体系的な教員試験対策講座の企画と実施、神戸市教育委員会を初めとする近隣教育委員会との連携、教職課程年報【資料Ⅲ-2】【資料Ⅲ-3】の発行などのさまざまな業務を行い、甲南女子大学の教員養成の日常的な拠点としての機能を果たしている。

教職課程教育・運営の課題を三点あげる。第一は、本学では2024年度から105分授業の導入という教育課程の変更が予定されていることである。これに伴う教職関連授業の内容配分の見直し、コアカリキュラムとの対応の確認、アクティブ・ラーニングの導入、授業の質的保証が課題となる。教職関連の授業は、非常勤講師が担当するものが多い。非常勤講師含め教職課程担当教員の研修会を開催し、大学や教職課程委員会から本学の教職課程で求められる事項を正しく伝える必要がある。第二は、本学はそれぞれの専門学科に教職課程が設置されているため、卒業後教職に就く学生の割合は教員養成大学に比べてかなり少ない。そのため、教職をめざしている学生、教職に就いた卒業生が孤立しがちである。これを克服するために、卒業生と現役学生が集う同窓会的な交流が必要となる。これは現役学生が学校の実態を知る機会にもなる。第三にICT環境の整備である。全国の小中学校では、GIGAスクール構想の進行と新型コロナウイルス感染症を原因とする臨時休校や感染不安による欠席が増加し、タブレットPCと遠隔教育システムの導入が急速に進行した。また2025年から大学共通テストに情報科が入るなど、高校でもICT教育が重視されている。本学でも、授業「教育におけるICT活用」（3年生1単位）の開講や学生のPC購入を計画的に進めているが、学生が教員になったとき児童生徒にICT機器を用いて指導できるレベルにあるとは言いがたい。ハード面、ソフト面の両側面からの環境整備が必要である。

<根拠となる資料・データ等>

【資料Ⅲ-1】甲南女子大学教職課程委員会規程

【資料Ⅲ-2】2020（令和2）年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

【資料Ⅲ-3】2021（令和3）年度 甲南女子大学教職課程年報 教職支援課

IV 「教職課程自己点検評価報告書」作成プロセス

- 2022年2月16日 教職課程自己点検評価の実施について、その意義と実施について共有
(2021年度第4回教職課程委員会)
- 2022年2月25日 令和4年度以降における教職課程の自己点検実施方法について
(2021年度医療栄養学部教授会)
- 2022年3月4日 令和4年度以降における教職課程の自己点検実施方法について
(2021年度文学部教授会・国際学部教授会・人間科学部教授会・看護リハビリ
テーション学部教授会)
- 2022年3月7日 令和4年度以降における教職課程の自己点検実施方法について
(2021年度内部質保証委員会)
- 2022年7月13日 教職課程自己点検評価のデータ収集と提出日を連絡
(2022年度第2回教職課程委員会)
- 2022年11月9日 教職課程自己点検評価報告書試案の検討
(2022年度第3回教職課程委員会)
- 2023年1月25日 教職課程自己点検評価報告書
(2022年度合同教授会)

V 現況基礎データ一覧

令和4年5月1日現在

法人名			
学校法人 甲南女子学園			
大学・学部名			
甲南女子大学 文学部・人間科学部・看護リハビリテーション学部・医療栄養学部			
学科・コース名（必要な場合）			
日本語日本文化学科・国際英語学科（旧英語文化学科）・総合子ども学科・看護学科・医療栄養学科			
1 卒業生数、教員免許状取得者数、教員就職等			
① 昨年度卒業生数	大学	文学部日本語日本文化学科	89名
		文学部英語文化学科	132名
		人間科学部総合子ども学科	167名
		看護リハビリテーション学部看護学科	102名
		医療栄養学部医療栄養学科	77名
	大学院	言語・文学専攻	0名
		心理・教育学専攻	5名
		計	572名
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)	大学	文学部日本語日本文化学科	81名
		文学部英語文化学科	120名
		人間科学部総合子ども学科	157名
		看護リハビリテーション学部看護学科	98名
		医療栄養学部医療栄養学科	71名
	大学院	言語・文学専攻	0名
		心理・教育学専攻	0名
		計	527名
③ ①のうち教員免許取得者の実数 (複数免許取得者も1と数える)	大学	文学部日本語日本文化学科	10名
		文学部英語文化学科	6名
		人間科学部総合子ども学科	159名
		看護リハビリテーション学部看護学科	13名
		医療栄養学部医療栄養学科	5名
	大学院	言語・文学専攻	0名
		心理・教育学専攻	0名
		計	193名

④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用+臨時採用の合計数)	<table> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>文学部日本語日本文化学科</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>文学部英語文化学科</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人間科学部総合子ども学科</td> <td>83名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護リハビリテーション学部看護学科</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医療栄養学部医療栄養学科</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>言語・文学専攻</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>心理・教育学専攻</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>95名</td> </tr> </tbody> </table>	大学	文学部日本語日本文化学科	8名		文学部英語文化学科	3名		人間科学部総合子ども学科	83名		看護リハビリテーション学部看護学科	1名		医療栄養学部医療栄養学科	0名	大学院	言語・文学専攻	0名		心理・教育学専攻	0名		計	95名
大学	文学部日本語日本文化学科	8名																							
	文学部英語文化学科	3名																							
	人間科学部総合子ども学科	83名																							
	看護リハビリテーション学部看護学科	1名																							
	医療栄養学部医療栄養学科	0名																							
大学院	言語・文学専攻	0名																							
	心理・教育学専攻	0名																							
	計	95名																							
④のうち、正規採用者数	<table> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>文学部日本語日本文化学科</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>文学部英語文化学科</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人間科学部総合子ども学科</td> <td>75名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護リハビリテーション学部看護学科</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医療栄養学部医療栄養学科</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>言語・文学専攻</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>心理・教育学専攻</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>77名</td> </tr> </tbody> </table>	大学	文学部日本語日本文化学科	0名		文学部英語文化学科	2名		人間科学部総合子ども学科	75名		看護リハビリテーション学部看護学科	0名		医療栄養学部医療栄養学科	0名	大学院	言語・文学専攻	0名		心理・教育学専攻	0名		計	77名
大学	文学部日本語日本文化学科	0名																							
	文学部英語文化学科	2名																							
	人間科学部総合子ども学科	75名																							
	看護リハビリテーション学部看護学科	0名																							
	医療栄養学部医療栄養学科	0名																							
大学院	言語・文学専攻	0名																							
	心理・教育学専攻	0名																							
	計	77名																							
④のうち、臨時的任用者数	<table> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>文学部日本語日本文化学科</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>文学部英語文化学科</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人間科学部総合子ども学科</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>看護リハビリテーション学部看護学科</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>医療栄養学部医療栄養学科</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>大学院</td> <td>言語・文学専攻</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>心理・教育学専攻</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table>	大学	文学部日本語日本文化学科	8名		文学部英語文化学科	1名		人間科学部総合子ども学科	8名		看護リハビリテーション学部看護学科	1名		医療栄養学部医療栄養学科	0名	大学院	言語・文学専攻	0名		心理・教育学専攻	0名		計	18名
大学	文学部日本語日本文化学科	8名																							
	文学部英語文化学科	1名																							
	人間科学部総合子ども学科	8名																							
	看護リハビリテーション学部看護学科	1名																							
	医療栄養学部医療栄養学科	0名																							
大学院	言語・文学専攻	0名																							
	心理・教育学専攻	0名																							
	計	18名																							

2 教員組織						
	教授	准教授	講師	助教	その他	
教員数	大学	大学	大学			
	文学部日本語日本文化学科（中高） 5名	文学部日本語日本文化学科（中高） 2名	文学部日本語日本文化学科（中高） 1名			
	国際学部国際英語学科（中高） 5名	国際学部国際英語学科（中高） 3名	国際学部国際英語学科（中高） 3名			
	人間科学部総合子ども学科（小一） 10名	人間科学部総合子ども学科（小一） 3名	人間科学部総合子ども学科（小一） 0名			
	人間科学部総合子ども学科（幼一） 10名	人間科学部総合子ども学科（幼一） 2名	人間科学部総合子ども学科（幼一） 0名			
	看護リハビリテーション学部看護学科（養一） 6名	看護リハビリテーション学部看護学科（養一） 5名	看護リハビリテーション学部看護学科（養一） 5名			
	医療使用学部医療栄養学科（栄一） 2名	医療使用学部医療栄養学科（栄一） 0名	医療使用学部医療栄養学科（栄一） 1名			
	大学院	大学院	大学院			
	日本語日本文学コース（中高専修（国語）） 5名	日本語日本文学コース（中高専修（国語）） 0名	日本語日本文学コース（中高専修（国語）） 0名			
	英語英米文学コース（中高専修（英語）） 3名	英語英米文学コース（中高専修（英語）） 1名	英語英米文学コース（中高専修（英語）） 0名			
	人間教育学コース（幼専修） 5名	人間教育学コース（幼専修） 0名	人間教育学コース（幼専修） 0名			
	人間教育学コース（小専修） 5名	人間教育学コース（小専修） 0名	人間教育学コース（小専修） 0名			
	相談院・支援員など専門職員数				0名	